

市長と語る

地域と私たちの未来

**第5次古賀市総合計画の策定に
向けたタウンミーティング 資料**

作成 古賀市総務部経営戦略課

古賀市の概要1(市の紹介)

古賀市は、東に緑豊かな犬鳴山地の山々、西に白砂青松の美しい海岸線を有する海が広がり、市内のいたるところに川が流れる自然に恵まれたまちです。

市内には、美しい自然に親しめる公園をはじめ、薬王寺温泉、地元の農産物が集まる「コスモス広場」、船原古墳をはじめとする史跡も数多く残されています。

また、太古から人々が暮らし、国内外と盛んに交流が行われ、奈良・平安時代には都と大宰府(※)を結ぶ幹線である律令官道が通り、江戸時代には「唐津街道」の宿場「青柳宿」が形成されて参勤交代の大名行列が利用するなど、昔から交通の要衝となっていました。現在は九州自動車道のインターチェンジや2本の国道、3つのJR駅を有し、優れた交通アクセスを生かして工業団地や住宅団地が立地し、便利で快適な生活環境が整っています。

※古代律令時代の役所に関する「ダザイフ」は、「大宰府」と表記するのが一般的です。

【特徴】

- 大都市近郊にありながら、豊かな自然環境を保持している。
(西に玄界灘の白砂青松、東に500～600m級の山)
- 多彩な企業群があり職住近郊性が高い。
(「モノづくりのまち」と「食のまち」)
- 教育施設や医療施設が集結しており、コンパクトな都市づくりを実現。
 - ・小中学校には、手厚く教員を配置し、「教育立市」を目指す。
 - ・待機児童0を堅持し、「子育てのまちづくり」を目指す。

古賀市の概要2(データでみる古賀市)

(平成27年国勢調査)

●人口 57,959人(県5,101,556人)

(県内60市町村中第17位)

●世帯数 22,320世帯

●行政区数 46行政区

●高齢化率 24.4%(県25.9%)

(全国平均26.6%)

※高齢化率:65歳以上人口の総人口に占める割合

●年少人口率 14.9%(県13.4%)

(全国平均12.6%)

※年少人口率:0~14歳人口の総人口に占める割合

●面積 約 42.07km²

(人口密度1,337.7人/km²)

(福岡県4,986.40km²)

【最新データ】(令和2年8月末現在)

●人口 59,682人

男性 28,612人

女性 31,070人

●世帯数 26,127世帯



古賀市のふるさと大使・特産品・郷土料理



五十川 綾
(演歌歌手)



静 太郎
(演歌歌手)



あまおう



スイーツコーン



デコポン



ケミカルライト



とりすき



金属加工品

古賀市内の主な施設数・インフラ整備状況

・ 幼稚園	4園 (全て私立)
・ 保育所	12ヶ所 (公立1、他私立)
・ 小学校	8校 (全て公立)
・ 中学校	3校 (全て公立)
・ 高 校	2校 (県立・公立)
・ 特別支援学校	1校 (県立)
・ 大 学	1校 (私立)
・ 病院、診療所	82箇所 (H31.3月時点)
・ J R 駅	3駅
・ 市営住宅	307戸 (H31.3月時点)
・ 水道普及率※	76.6% (H31.3月時点)
・ 汚水処理人口普及率※	97.9% (H31.3月時点)
・ 道路実延長	385,054m (H31.3月時点)
・ 公園数	172ヶ所 (H31.3月時点)



* 水道普及率… 水道水を供給している人口の総人口に対する割合

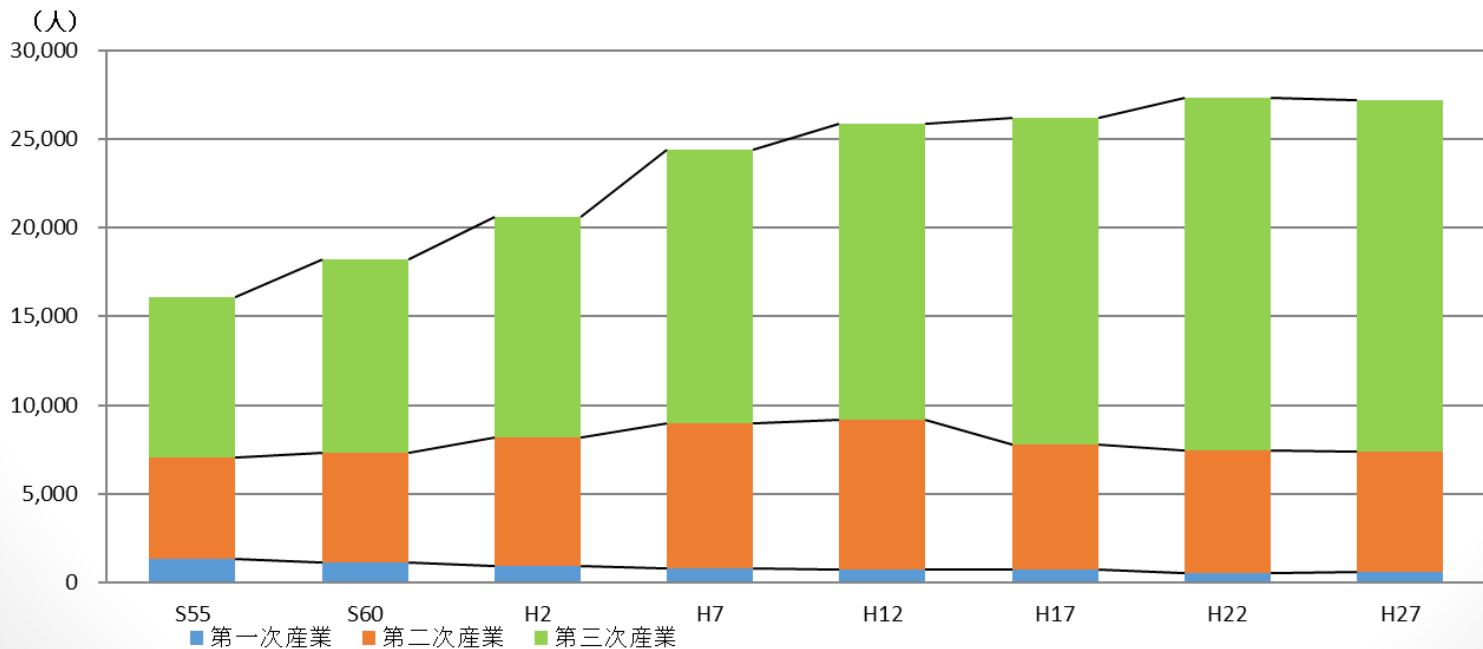
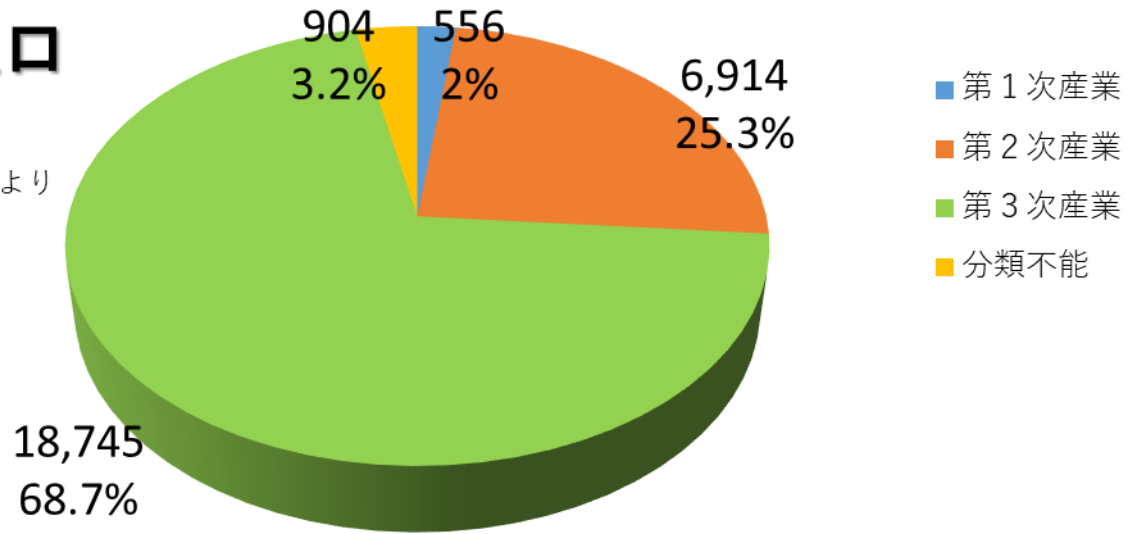
* 汚水処理人口普及率… 下水道（農業集落排水・浄化槽含む）普及人口の総人口に対する割合

古賀市の産業構造1(就労人口について)

●就労人口

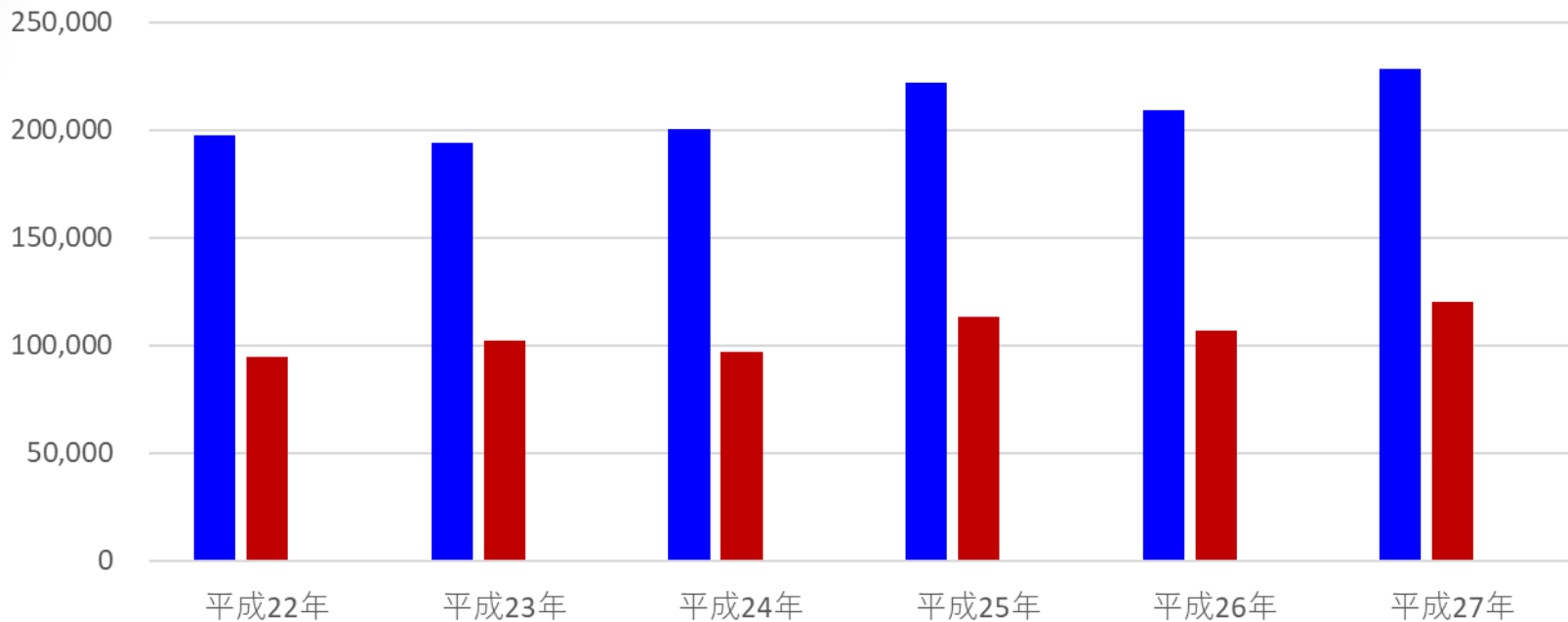
単位：人

平成27年国勢調査より



古賀市の産業構造2(工業について)

製造品出荷額等 (工業統計・経済センサスより)

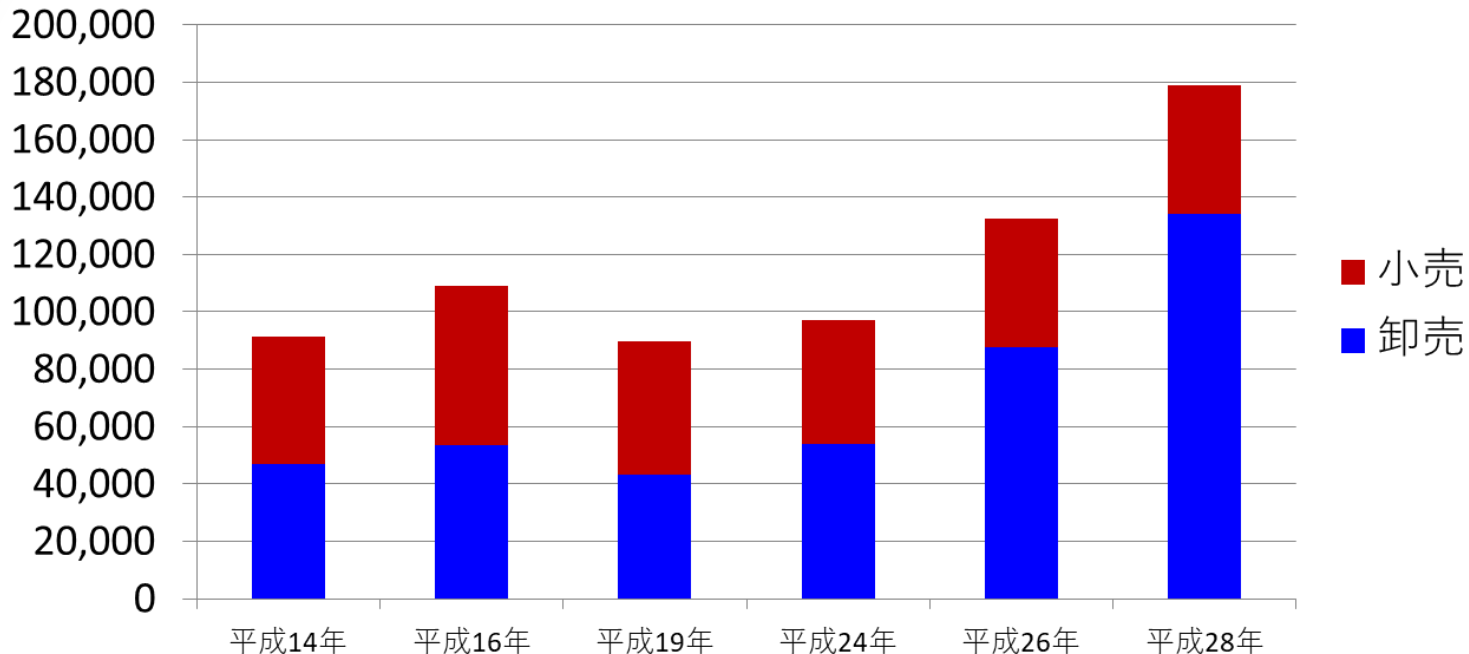


平成27年度の製造品出荷額は福岡県内9位(約2,283億円)、そのうち食料品は福岡市に次いで県内2位(約1,203億円)であり、県内でも食品加工企業が多く立地し、多くの雇用を支えている。

主な立地企業：ハウス食品、山崎製パン、ピエトロ、凸版印刷等

古賀市の産業構造3(商業について)

年間販売額（商業統計・経済センサスより）
（百万円）

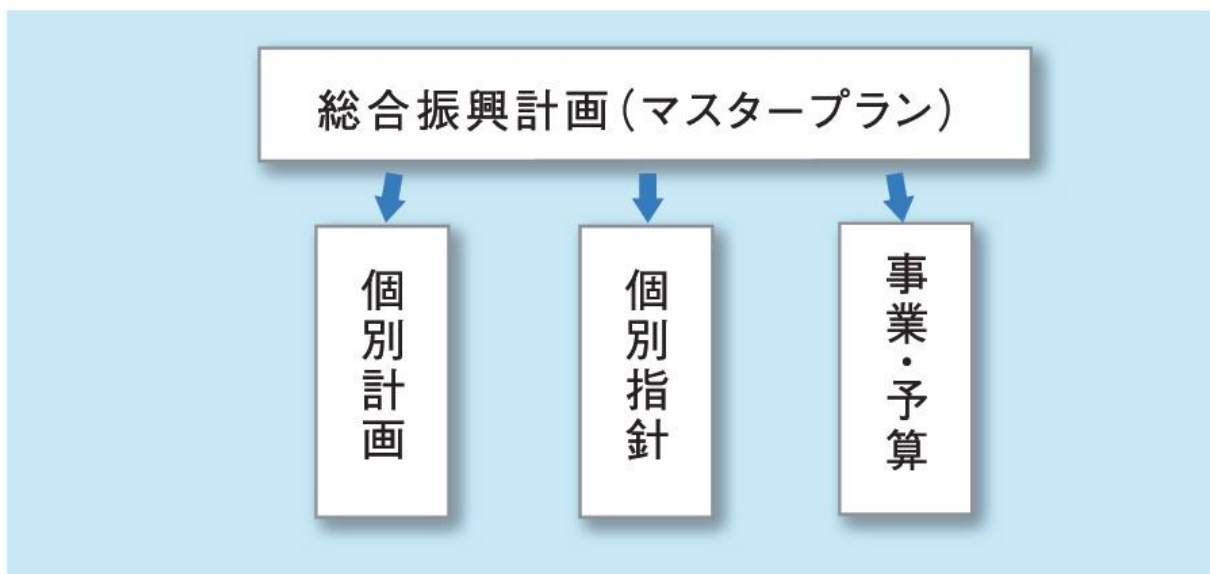


平成26年度の年間販売額は県内12位（約1,325億円）、そのうち卸売が約875億円、小売が449億円である。平成26年は卸売が大きく伸びている。古くから小売についてはJR古賀駅周辺、国道495号線沿いを中心に立地し、市民の暮らしを支えている。
主な立地企業：サンリブ、三井食品等

1) 総合計画（マスタープラン）の役割と目的

持続可能なまちづくりを行ため、めざすべきまちの**将来像（基本構想）**を掲げ、その**実現方針（アクションプランや基本計画など）**を示します。

また、総合計画は市の個別計画や指針の基本となり、**市の最上位に位置づけられる計画**です。



2) 総合計画の将来像の変遷(へんせん)

将来像(都市イメージ)の変遷

第1次計画 昭和56(1981)年～平成2(1990)年

緑の住宅と工業の福祉都市

～健康づくり・人づくりからなる調和のとれた人間優先のまちづくり～



第2次計画 平成3(1991)年度～平成12(2000)年度

海と緑に恵まれた
豊かで快適なヒューマンシティ古賀



第3次計画 平成13(2001)年度～平成22(2010)年度

輝く未来へ、はつらつ交流都市こが
～ひとが真ん中、古賀新時代～



第4次計画 平成24(2012)年度～平成33(2021)年度

つながりにぎわう 快適安心都市こが
～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～



令和4(2022)年度～令和13(2031)年度を
計画期間とする
第5次総合計画の策定へ

3) 総合計画の構成・期間

第5次総合計画は大きく『**基本構想**』と『**アクションプラン**』で構成されます。

【基本構想】

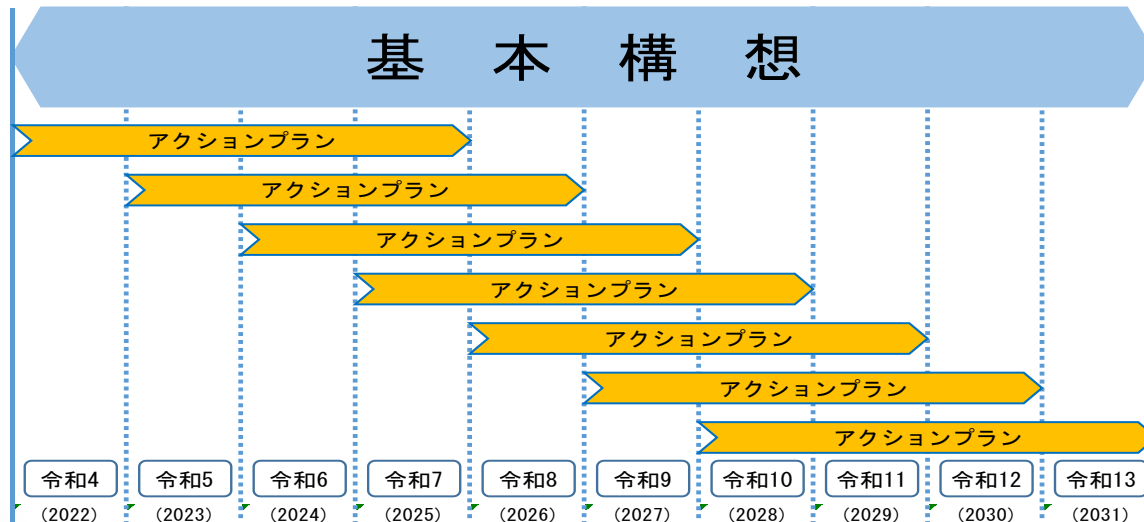
中長期的展望に立ち、市がめざすべき将来の都市イメージ及びそれを達成するための基本的な方針を示します。

想定期間：10年間【令和4年度～令和13年度】

【アクションプラン】

基本構想で掲げた都市イメージ実現のための具体的な事務事業を示します。

計画期間：4年間【毎年度ローリング方式で見直し】



4) 第4次総合振興計画での取り組みについて

基本構想 平成24(2012)年度～平成33(2021)年度 10年間

都市イメージ

つながり
にぎわう
快適安心都市
こが

豊かな自然と
元気な笑顔に出会うまち

人やモノが集い、
活気にあふれ、
にぎわうまち

自然と歴史・文化の
魅力を未来へつなぎ、
こころやすらぐまち

こころ豊かに学び、
人や地域がつながり、
支えあうまち

快適で住みやすく、
安心して
元気に暮らせるまち

基本目標 1 活気とにぎわいあふれるまちづくり

- 政策1.1 農林業の振興
- 政策1.2 商工業の振興
- 政策1.3 観光の振興

基本目標 2 自然を大切にし環境にやさしいまちづくり

- 政策2.1 環境の保全
- 政策2.2 循環型社会の形成

基本目標 3 こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり

- 政策3.1 学校教育の充実
- 政策3.2 社会教育の振興
- 政策3.3 青少年の健全育成
- 政策3.4 文化芸術の創造・継承
- 政策3.5 スポーツの振興

基本目標 4 住みやすい生活環境の整ったまちづくり

- 政策4.1 良好な市街地・住環境の形成
- 政策4.2 交通環境の形成
- 政策4.3 水道水の安定供給
- 政策4.4 下水道の整備

基本目標 5 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 政策5.1 災害対策の強化
- 政策5.2 防犯の強化
- 政策5.3 交通安全の推進

基本目標 6 すこやかで元気あふれるまちづくり

- 政策6.1 地域福祉の推進
- 政策6.2 健康づくりの推進
- 政策6.3 保健・医療の充実
- 政策6.4 子育て支援の充実
- 政策6.5 高齢者福祉の推進
- 政策6.6 障がい者福祉の推進
- 政策6.7 生活支援の充実

基本目標 7 互いに認めあい みんなでつくるまちづくり

- 政策7.1 人権のまちづくりの推進
- 政策7.2 男女共同参画社会の確立
- 政策7.3 共働きのまちづくりの推進
- 政策7.4 開かれた市政の推進
- 政策7.5 適正な行政運営の推進



前期基本計画

平成24(2012)年度～平成28(2016)年度

5年間

重点プロジェクト

前期5年間に
特に力を入れる
戦略的かつ
横断的な取組

後期基本計画

平成29(2017)年度～平成33(2021)年度

5年間

重点プロジェクト

後期5年間に
特に力を入れる
戦略的かつ
横断的な取組

政策別基本計画

前期5年間に
取り組む施策を
政策別に
示した計画

政策別基本計画

後期5年間に
取り組む施策を
政策別に
示した計画

体系図

○都市イメージ

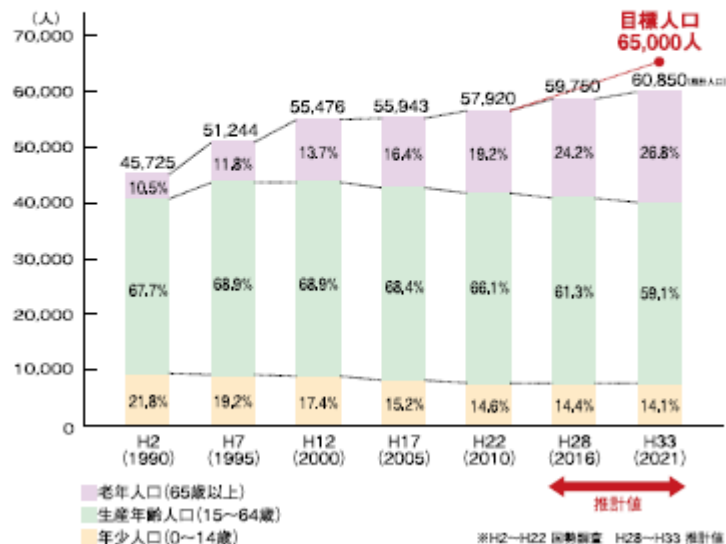
つながり にぎわう 快適安心都市 しが

～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～

○目標人口

目標人口 65,000人 平成33年度

■古賀市の人口の推移と推計



○土地利用の方針

土地利用の方針

古賀市の自然環境や地理的条件を踏まえながら、土地利用の方針を掲げます。

- 良好な市街地の形成
- 市街化調整区域におけるコミュニティの活性化
- 都市計画区域外における適時、適切な土地利用の規制
- 交通の利便性などを生かした土地利用の実現
- 豊かな自然環境との共生
- JR3駅を拠点とした“歩いて暮らせるまちづくり”の推進

古賀市の人口は現在、59,682人 (令和2年8月末住民基本台帳より)

基本目標 1 活気とにぎわいあふれるまちづくり

1 農林業の振興

- ・ 耕作放棄地対策 ・ 農地集積（小野南部ほ場整備など）
- ・ 農商工連携による農産物生産拡大支援（K-1グランプリの開催やスイートコーン特産品化の取組など） …etc

2 商工業の振興

- ・ モノづくり力を生かしたまちづくり（まつり古賀・食の祭典やプレミアム商品券発行の支援、ふるさと納税返礼品としての取り扱いなど）
- ・ 企業誘致の推進（古賀物流団地の完成、玄望園などの開発に向けた取組、企業立地支援の取組など） …etc

3 観光の振興

- ・ 市が有する資源の活用（なの花祭りや観光協会への支援など）
- ・ 観光情報の発信（ガイドマップやHPでの情報発信、民間情報誌や広域連携でのPRなど）
- ・ 観光拠点整備の検討 …etc

基本目標 2 自然を大切にし 環境にやさしいまちづくり

1 環境の保全

- ・ 自然の保全・整備（森林組合や市民活動団体との共働の取組、城の山の整備など）
- ・ 身近な環境の保全・美化（不法投棄パトロールの実施、環境美化活動や地域猫活動への支援、古賀市環境市民会議と連携した取組、河川などの水質調査、生物多様性古賀戦略の策定など） …etc

2 循環型社会の形成

- ・ 環境負荷低減意識の向上（グリーンカーテンの取組など）
- ・ ごみの減量（3Rの推進や食品ロスの削減に向けた啓発、古紙類集団回収奨励金の支給・バイオマス発電の検討など）
- ・ 地球温暖化防止の推進（省エネルギーの推進と啓発、太陽光発電設置の支援など） …etc

基本目標3 ころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり

1 学校教育の充実

- ・学習環境や学校施設の充実（少人数学級の導入、小1プロブレムやスクールソーシャルワーカー等の多様な人的配置の継続、太陽光発電設備の整備、エアコン設置など）
- ・体験学習の充実（キャリア教育や就業体験、総合的な学習の充実など）
- ・食育の推進（親子料理教室の実施など） …etc

2 社会教育の振興

- ・社会教育環境の充実（リーパスプラザ交流館建設や図書館増床等による生涯学習ゾーンの整備など）
- ・学習機会の提供（コスモス市民講座の充実など） …etc

3 青少年の健全育成

- ・青少年を育む環境の充実（ししぶ児童センター開設、スタンドアロン支援事業の開始、地域における活動支援など） …etc

4 文化芸術の創造・継承

- ・文化芸術活動の充実（文化芸術振興計画の策定、文化祭や芸術祭の開催など）
- ・歴史遺産の継承（国史跡船原古墳の発見・研究・公開・活用の検討など） …etc

5 スポーツの振興

- ・子どもの体力向上（元気アップチャレンジの実施、体育協会との連携など）
- ・スポーツ環境の充実（社会体育施設の整備、スポーツ振興計画策定など） …etc

基本目標4 住みやすい生活環境の整ったまちづくり

1 良好な市街地・住環境の形成

- ・良好な市街地の整備（高田地区区画整理、JR古賀駅周辺整備の検討など）
- ・コミュニティ活力の維持・回復（市街化調整区域の地域活力維持検討など）
- ・住環境の保全（空き家対策・公園整備・景観計画の策定など） …etc

2 交通環境の形成

- ・道路網の整備（東西幹線道路整備、計画的な道路橋りょうの長寿命化など）
- ・持続可能な公共交通体系づくり（西鉄バスへの補助や利用の促進、コガバス運行、お出かけタクシーによる交通弱者支援など） …etc

3 水道水の安定供給

- ・安全で安心な水道水の供給、水源の確保（北九州市からの受水開始など）
- ・サービスの持続（料金改定の実施）、施設の強靱化（老朽管更新） …etc

4 下水道の整備

- ・施設整備（計画的な整備による水洗化率の向上など）
- ・経営の健全化と基盤強化（使用料改定、企業会計移行など） …etc

基本目標5 安全で安心して暮らせるまちづくり

1 災害対策の強化

- ・ 防災体制の充実（自主防災組織の設立、災害対策用品の備蓄、防災マップの配布、防災訓練の実施、防災行政無線デジタル化の推進、消防団女性部の創設や装備の充実強化など）
- ・ 自然災害対策（河川氾濫・砂防・松くい虫等への対策など）
- ・ 国民保護体制の充実（Jアラートの導入など） …etc

2 防犯の強化

- ・ 防犯体制の充実（関係団体と連携した防犯パトロールの実施、防犯カメラの設置など）
- ・ 暴力団対策の強化（暴力追放古賀市民会議の実施、啓発強化など）
…etc

3 交通安全の推進

- ・ 交通安全意識の向上（粕屋地区交通安全協会古賀支部との連携による交通安全意識の啓発、高齢者安全運転教室の実施、飲酒運転撲滅に向けた啓発など）
- ・ 交通安全施設の充実（歩道バリアフリー化の推進など） …etc

基本目標6 すこやかで元気あふれるまちづくり

1 地域福祉の推進

- ・地域福祉活動の推進（社会福祉協議会や民生委員・児童委員との連携など） …etc

2 健康づくりの推進

- ・健康づくり環境の充実と意識向上（ヘルスステーションの設置、骨密度測定や出前講座の実施、食育やウォーキングの推進など） …etc

3 保健・医療の充実

- ・母子保健の推進（妊婦健診支援や個別健診の実施、出産後の切れ目ない支援など）
- ・疾病予防と早期発見（特定健診・がん検診の推進）・地域医療の推進 …etc

4 子育て支援の充実

- ・保育サービスの充実（待機児童ゼロに向けた取組、休日保育・病児保育の開設など）
- ・妊娠期からの切れ目ない支援（子育て包括支援センターの設置、乳児全戸訪問の実施など）
- ・経済的負担の軽減（市独自の保育料軽減や子ども医療費の助成拡大など）…etc

5 高齢者福祉の推進

- ・地域での介護予防の推進（地域包括ケアシステムの構築、サポーター養成など） …etc

6 障がい者福祉の推進

- ・生活や社会参加の支援（地域支援体制や就労支援の強化など） …etc

7 生活支援の充実

- ・就労や自立の支援（学童保育の増設、無料職業紹介所の運営、生活困窮者への支援など）
- ・自殺や子どもの貧困に対する対策の推進など …etc

基本目標7 互いに認めあい みんなでつくるまちづくり

1 人権のまちづくりの推進

- ・人権意識の向上（いのち輝くまち☆こが・同和問題を考える市民のつどいの開催等による人権啓発の推進など） …etc

2 男女共同参画社会の確立

- ・女性の活躍推進（女性リーダーの育成や起業・再就職・キャリアアップの支援など）
- ・男女共同参画意識の向上や配偶者等からの暴力撲滅に向けた取組など …etc

3 共働のまちづくりの推進

- ・市民参画の推進（まちづくり基本条例の策定、行政区・校区コミュニティとの共働）
- ・市民活動の支援（市民活動支援センターの機能強化、情報発信など） …etc

4 開かれた市政の推進

- ・広報・広聴の充実（広報こが・市公式HPのリニューアル、地域資源を活かしたシティセールスの推進、パブリックコメントの実施など）・市政情報の適正管理など …etc

5 適正な行財政運営の推進

- ・健全財政の推進（滞納整理の強化、補助金改革など）
- ・行政機能の向上（電子申請の推進、コンビニ交付サービス開始など）
- ・定住化の推進（地方創生の取組による定住化に向けた情報発信など） …etc

現在進行形の地域課題（私たちの課題）

・ 少子高齢化

令和2年3月末現在の久保区の高齢化率（65歳以上）

・・・ 21.9%（古賀市26.0%）

久保区の年少人口率（14歳以下）

・・・ 17.7%（古賀市14.3%）

・ 社会保障費増大 ⇔ 健康寿命の延伸

令和元年度の久保区の特定健診受診率

・・・ 25.7%（古賀市31.9%）

・ 地域の担い手の確保

久保区の自治会加入率・・・98.3%（古賀市76.3%）

古賀市でも消防団・PTA等担い手確保が困難な状況に

2019 → 2020 以降の未来に向けて

持続可能な都市に向けた経営方針

<第4次古賀市総合振興計画の基本目標の達成とこれからの市政運営に向けて>

私たちの課題

少子高齢化
人口減少

社会保障費の増大

あらゆる世代が
支えあうコミュニティ

中心市街地
の活性化

「潜在力」
を引き出す

公共施設の
管理・更新

地域公共交通
の確保

産業力

JR古賀駅周辺のにぎわい創出
土地利用転換と企業誘致の推進
都市近郊の強みを生かした農業振興
新たなアイデアを生かす起業支援
観光と物産の拠点を構想
農商工製品の販路拡大

健康・安心

全世代型健康づくりの推進
地域医療・介護体制の構築
障がい者が暮らしやすい環境整備
生活の利便性を高める地域公共交通
環境にやさしい循環型社会の形成
地域防災・減災体制の強化
スポーツと文化の振興

相乗効果で

好循環をもたらす
市政運営

子ども

きめ細かな学習環境の充実
安心して産み育てられる環境整備
豊かな心の育成、体力・学力の向上
コミュニティが育む子どもの成長
「貧困の連鎖」を断つ対策

市民生活を支える基盤

市民活動を支援し、市民と共働する対話と交流のまちづくり
人権を重んじ、平和を希求する取組 国際交流と多文化共生の推進
持続可能な都市インフラの整備 自然と調和した安全で快適な住環境の形成 健全な行財政運営の推進

持続可能な
都市へ

誰もが
生きやすい
地域共生社会
の構築

経済活動
定住促進
を生み出す
基盤づくり